

情報化施工

情報化施工は、建設事業の調査、設計、施工、監督・検査、維持管理という建設生産プロセスのうち「施工」に注目して、ICT(情報通信技術)の活用により各プロセスから得られる電子情報を活用して高効率・高精度な施工を実現し、さらに施工で得られる電子情報を他のプロセスに活用することによって、建設生産プロセス全体における生産性の向上や品質の確保を図ることを目的としたシステムです。



情報化施工(1) 信頼と実績のACCSを利用した切削管理システム

- GNSSを用いた位置測位及び、ACCSⅣを用いた切削深さにより切削出来形を管理
(国土交通省「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)(路面切削工編)」に準拠)
- オペレータに複雑な操作は必要なし
切削開始時に「開始」ボタン、切削終了時に「終了」ボタンを押すだけ
- 2点先までの計画深さ表示で、オペレータの切削作業を支援
- 国土交通省「ICT建設機械等の認証マーク」をICT建設機械及びICT装置群で取得

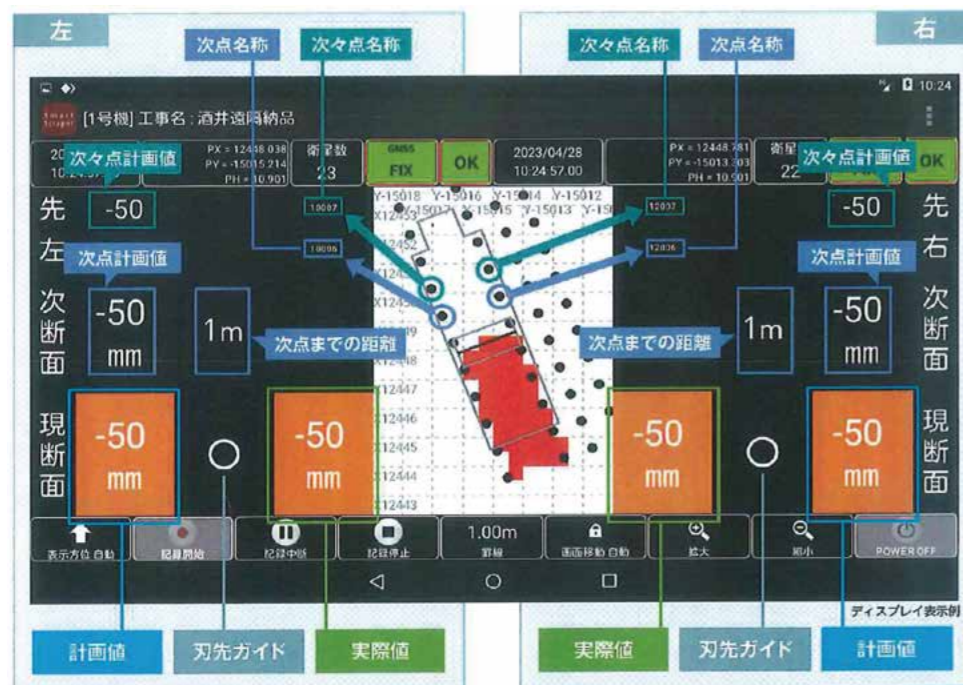


施工の見える化で現場担当者の負担を軽減!

誰でも簡単
安心操作

記録開始 と 記録停止 を押すだけ!!

切削機を作業モードにすると実際値が表示され、後進信号が入ると実際値が消えます



刃先ガイドメモ

計画値 と 実際値 が合致する場合
丸○

計画値 より 実際値 が浅い場合
下矢印↓…「カッター下げ」を意味

計画値 より 実際値 が深い場合
上矢印↑…「カッター上げ」を意味

概略仕様

電源電圧(V)	12/24共通
使用温度環境(℃)	-10~50
使用湿度環境(%)	85

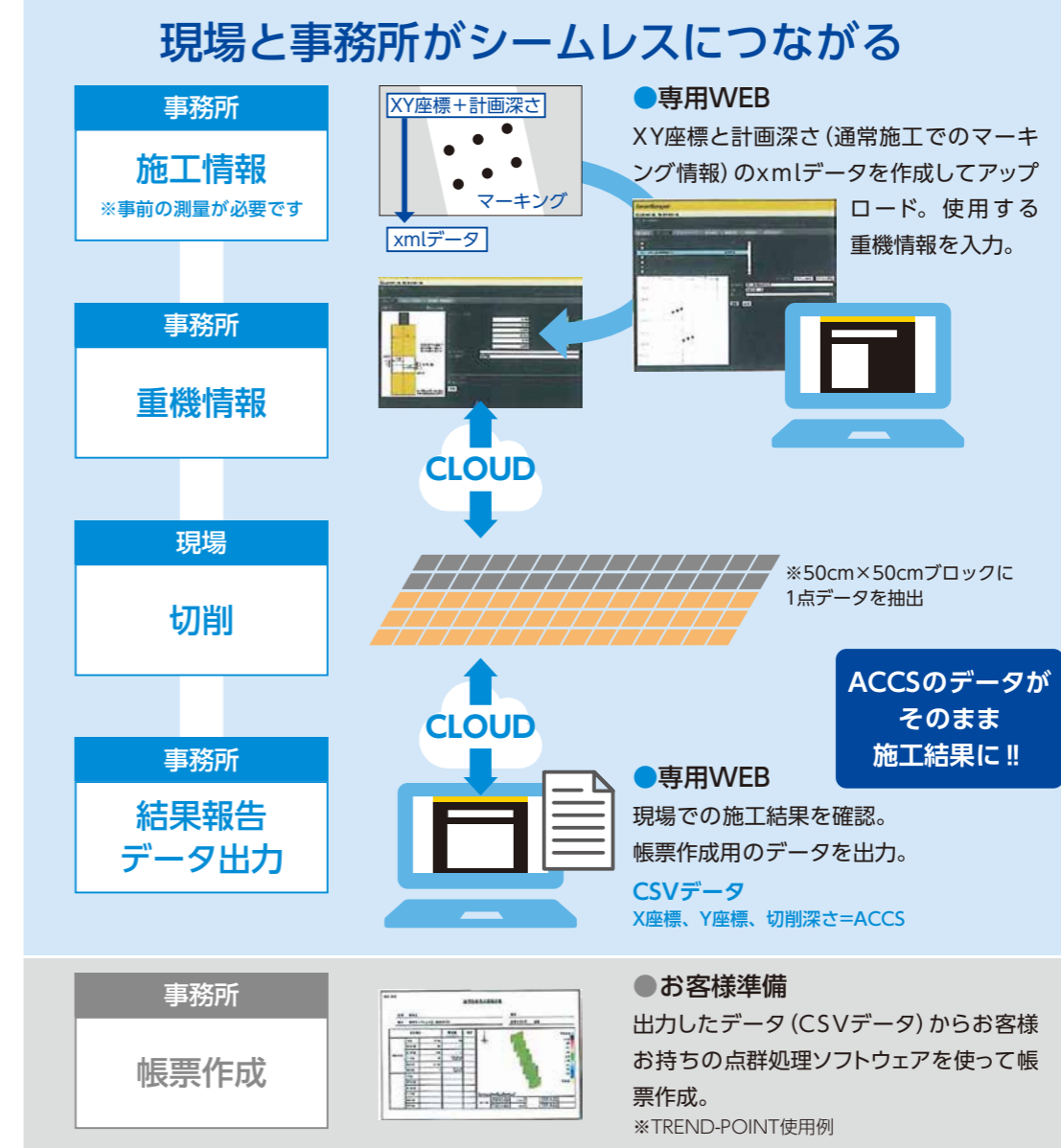
ディスプレイ仕様

寸法(H×L×W) mm	76×351×220
表示部	10.1インチワイド
耐震動	MIL-STD810G準拠
保護等級	IP67

今後は、随時アプリケーションのバージョンアップを行う予定です。
お持ちの製品を買い替える必要は無く、お使いいただけます(状況により必要部品をご購入いただく可能性があります。ご了承ください)。

業務フロー

Point 1 現場の効率化・生産性UP
Point 2 誰でも簡単・さらに便利に
Point 3 後付OK・即日ICT施工開始



その他の業務は出来形管理要領に沿って実施してください。

ROAD CONSTRUCTION AHEAD PAVEMENT MILLING

情報化施工(2) 舗装修繕工の生産性向上に貢献!

3D-MC路面切削システム **M-53 LPS** NETIS 3Dテクノロジーを用いた計画及び実施システム 登録番号:KT-170034-VE



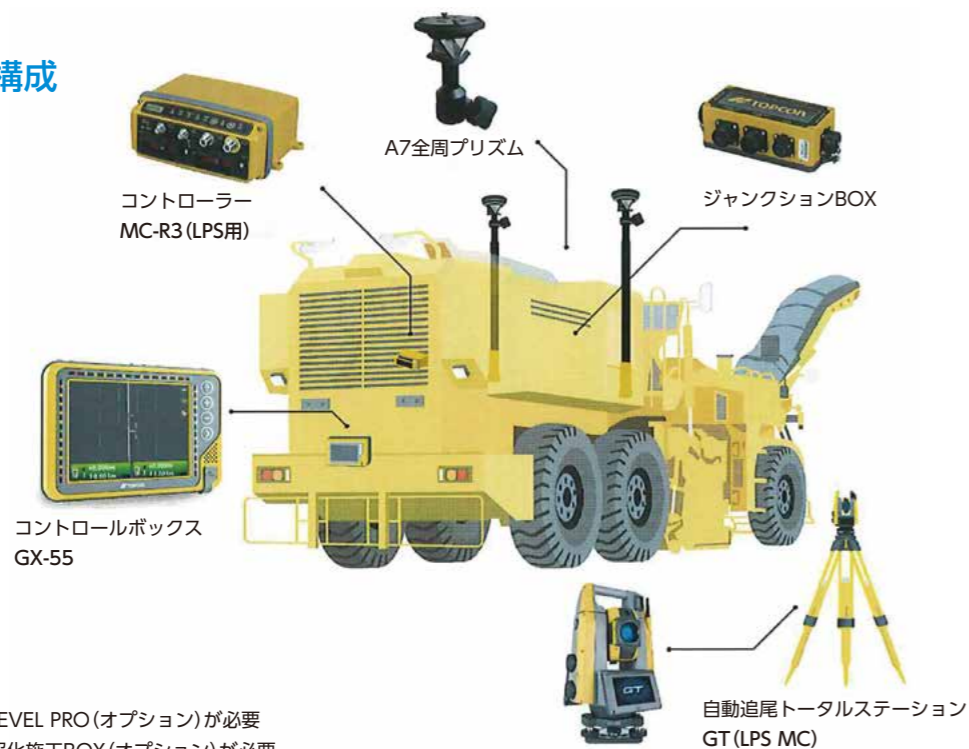
トータルステーションによる高精度施工

トータルステーションによる高精度で安定した3次元位置計測データにより、設計値に沿ってスクリーンを自動制御します。

上空視界不要

トンネルや山間部などのGNSS衛星の捕捉が難しい環境下でもトータルステーションは測位可能なため、生産性を落とすことなく、シームレスな施工を実現します。

システム構成



取付可能条件：
ヴィルトゲン：LEVEL PRO (オプション)が必要
酒井重工業：情報化施工BOX (オプション)が必要

切削機

ロードカッター

HBS2000

W35Ri

W50Ri

CRP-100VI

CRP-120FLII

CRP-120FLC

CRP-S150C

ER552F

ER552F-1

ER555F

クローラ式ロードカッター

W210Fi

W210

W200Hi